

2010年2月24日

ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「世界標準債券ファンド(愛称:ニューサミット)」を設定

～ 世界の「新しい枠組み」捉えることをめざす ～

日興アセットマネジメント株式会社(取締役会長兼 CEO: ティモシー・マッカーシー、以下「日興 AM」)は、追加型投信「世界標準債券ファンド(愛称:ニューサミット)」を3月18日に設定、運用を開始する予定です。募集は、株式会社千葉銀行にて3月1日から開始します。

「世界標準債券ファンド(愛称:ニューサミット)」は、国際経済・政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨を投資対象とし、この中から3通貨程度を選定して、主として投資信託証券への投資を通じて、当該通貨建てのソブリン債に実質的に分散投資するファンドです。原則として、毎月、安定した分配を行なうことをめざします。

当ファンドにおいて、「国際経済・政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域」とは、G20(Group of 20)の構成国・地域を指します^{※1}。G20は、経済規模の大きい先進国や今後高い成長が予想される新興国の20の国・地域で構成されており、世界の経済規模の約90%、貿易量の80%以上、人口の約3分の2を占め^{※2}、2008年からは首脳会合(金融サミット)も開催されるなど、世界経済の中核といえます。

当ファンドは、このようなG20の中から、格付などを考慮しつつ、相対的に金利水準の高い通貨を3通貨程度選定し、組み合わせることで、信用力に配慮しながら高い金利収入をめざします。なお、2009年12月末現在の当ファンドのモデルポートフォリオにおける投資対象通貨は、ブラジルレアル、オーストラリアドル、および南アフリカランドとなっています^{※3}。

かつて、世界経済において中心的な役割を担ったのは一部の先進国でしたが、現在では、経済発展の目覚ましい新興国の台頭により、先進国と新興国が一体となった新しい枠組みが形成されつつあります。当ファンドでは、G20に示されるような世界の新しい枠組みを「ニューサミット」と位置づけ、これを捉える資産運用の新標準をめざします。

今後も、日興 AM は投資家のみなさまの資産形成の一助となる商品開発に尽力してまいります。

※1 2010年2月現在。投資対象通貨は将来変更になる可能性があります。

※2 経済規模はIMF「World Economic Outlook, October 2009」、貿易量は国連「Monthly Bulletin of Statistics Online」、人口は国連「World Urbanization Prospects: The 2007 Revision Population Database」のデータをもとに日興AMが作成。

※3 当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の2009年12月末現在のモデルポートフォリオとして、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供されたものであり、実際のポートフォリオとは異なります。また、上記の通貨の組入れや運用成果などを約束するものでも示唆するものでもありません。

■お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／債券
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	[当初申込期間]1口当たり1円 [継続申込期間]お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込期間	[当初申込期間]2010年3月1日から2010年3月17日まで ※ 当初申込期間以降もお申込みいただけます。
お申込不可日	取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2020年1月17日まで(2010年3月18日設定)
決算日	毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	2010年5月以降の毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※ 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- お申込手数料：お申込手数料率は、3.15%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。
※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
- 換金手数料：ありません。
- 信託財産留保額：ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬：純資産総額に対して年率1.402%(税抜1.35%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.092%(税抜1.04%)、投資対象となる「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.31%程度となります。
* 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
- その他費用：組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
※ その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
受託会社 : 住友信託銀行株式会社（再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）
販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
【ホームページ】 <http://www.nikkoam.com/>
【コールセンター】 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■リスク情報

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。投資する新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動の影響を受けます。一般に新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があり、基準価額にも影響を与えることがあります。したがって、元金を割り込むことがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

■その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「世界標準債券ファンド／愛称: ニューサミット」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家のみなさまに当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 当ファンドは、金融商品取引法(昭和23年法第25号)第5条の規定により有価証券届出書を2010年2月12日に関東財務局長に提出しており、2010年2月28日よりその効力が発生します。なお、効力発生前に記載内容の訂正が行なわれる場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者のみなさまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などを2010年3月1日以降にお渡しますので、必ず詳細をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興 AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興 AM の投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約 200 社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

日興 AM は、国内初の社会的責任投資(SRI)ファンド『日興エコファンド』を 1999 年に設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行なってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興 AM グループ*の運用資産残高は約 10.1 兆円(2009 年 12 月末現在)**に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

*「日興 AM グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。